船橋市議時代の主な実績

【行財政改革】

●一般質問等を通じて財政健全化の観点から数多くの課題を指摘。（行革の効果は年間約22億円）

●無駄な事業の見直しのための行政評価（事務事業評価）を復活させる。

▲一般質問の様子

【子育て支援】

●保護者と市役所との対話集会を開催し、待機児童の多かった中野木第3放課後ルーム（校外）の開設に貢献。

●船橋市私立幼稚園議員連盟の一員として、幼稚園での預かり保育の拡充に取り組み、保育所などの待機児童対策に尽力。

●共働き世帯の増加など、市民生活や働き方の多様性を訴え、夜間のごみ出し時間を19時から19時半まで延長。

【教育】

●コロナ禍における市立学校のオンライン授業を推進。

●生徒が専門的指導を受けられるようになること及び教員の負担軽減を考えた部活動改革を推進。（部活動指導員の導入と部活動ガイドラインの策定）

▲委員会での質疑の様子

●部活動の地域移行化に向けた「教職員の部活動に対するアンケート調査」を実施（その結果、船橋市の教職員の8割以上が部活動を負担と感じていることが判明）。

【多様性】

●市立中学校におけるジェンダーレス制服（女子のスラックス）の採用を提言。

●船橋市LGBT・性の多様性を考える議員連盟の一員として、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」船橋市を掲げ、パートナーシップ宣誓制度を実現。当該議連でマニフェスト大賞優秀政策提言賞を受賞。

▲マニフェスト大賞受賞式

石川りょうプロフィール

経　歴

- 1980年（昭和55年）11月15日生まれ
- 栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、県立八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科を卒業
- 青年海外協力隊・村落開発普及員としてケニアへ
- 国連プロジェクトサービス機関（UNOPS）インターン
- 英国国立マンチェスター大学大学院修了
- 開発コンサルタント会社アイ・シー・ネット（株）
- 外務省在スーダン大使館、在南スーダン日本政府連絡事務所二等書記官（ローカルランク）
- 早稲田大学公共経営大学院修了
- 船橋市議会議員（2期：健康福祉・広報委員長など歴任）

資格など

法学士、開発学修士、公共経営修士、
TOEFL（CBT）257点（TOEIC915点相当）、仏語検定3級、
プロジェクトマネジメントスペシャリスト（PMS）、
政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、
ふなばし市民大学校平成26年度ボランティア入門学科

▲海外協力隊時代　ケニアの農村開発

▲外交官時代　南スーダンに対する支援

公式HP　ブログ　Twitter

石川りょう後援会事務所
〒274-0816
船橋市芝山 3-26-1-703
TEL : 080-6575-4711
E-mail : info@ishikawaryo.net

ご支援をお願いいたします。

－ご寄附の振込先－
【名義】石川りょう後援会
▼銀行からの場合
【銀行名】ゆうちょ銀行
【店名】〇五八（読み：ｾﾞﾛｺﾞﾊﾁ）
【口座番号】（普）8620077
▼郵便局からの場合
【記号－番号】10580-86200771

県政挑戦！！

無所属

船橋市議会議員

石川りょう

Vol.1 ：県政課題編

千葉県知事は代わった
千葉県議会も変わるとき

令和３年の千葉県知事選挙で、特定政党の支持を受けない熊谷俊人知事が誕生しました。

それまでの千葉県政は、国政与党系の議員が大多数を占める県議会と知事との蜜月関係により、緊張感に欠けると言わざるを得ないものでした。都道府県政は、政党政治である国政とは異なり、市政と同様、首長（知事）も議員（県議）もそれぞれ住民から選挙で直接選ばれる二元代表制です。したがって、知事と議会とは対等な関係であり、両者は相互に監視し合い、適度な緊張関係をもって、県民の福祉増進という共通の目的のために職務にあたるべきものです。

いま、千葉県政は「県民党」を掲げる知事に代わったことで、その本来の姿を取り戻しつつあります。今こそ、千葉県議会も国政政党本位ではなく、真に県民の福祉の向上のために働く議会に変わるべきです。

石川りょうは、どの国政政党にも所属しておらず、党利党略ではなく、是々非々の姿勢で、県民のために働く千葉県政を実現します。

右の見開きのページに、「石川りょうの県政ビジョン」をお示ししていますが、スペースの関係で簡略化しています。詳細な内容は、石川りょう公式サイトに記載しておりますので、「石川りょう　船橋市」でご検索いただくか右のQRコードからアクセスください。

公式サイト

石川りょう　船橋市

石川りょうの県政ビジョン

開かれた県政

地域における議員の最大の仕事は、県民の皆さまの声を聴いて県政に反映させることです。私は船橋市議会議員時代、積極的に市民対話と現場視察を重ねてきました。対面とオンラインによる定期的な意見交換会（りょうCafé）を開催して市民の皆さまの声を聴き、平日は毎朝の駅頭活動を通して市政報告をお配りし、SNSなどでの発信とやり取りも積極的に行ってきました。また、市民の皆さまからお声がけをいただければどこにでも伺って直接お話をお聞きし、ご要望があれば現地に赴き自分の目で確認しました。これらの活動を継続していくことをお約束します。

▲りょうCafeの様子

是々非々の県政

議会における議員の最大の仕事は議案審査と議決です。石川りょうは全ての議案に対し、データなどのエビデンスに基づき、県民のためになるか否かの視点から、是々非々で向き合うことをお約束します。特に、予算と決算の審査に力を入れます。船橋市議会議員時代に自治体財政を専門分野として培ってきた経験を活かし、千葉県の財政運営（税金の使い方）をしっかりチェックし、未来のための行財政改革を進めます。

医療と福祉

- コロナ対策：保健所を独自にもつ船橋市と県との連携強化。病床確保にあたっては、医師・看護師などの確保。
- 介護や障がい福祉の人材確保：就労環境の整備や処遇改善など、さらなる方策の推進と積極的な財政支援。
- 高齢者福祉：地域包括ケアの推進、介護施設の整備、認知症とその家族を支える施策など。
- 制度の狭間の社会問題：8050問題、引きこもり、ヤングケアラー、自殺対策など。
- 動物行政：犬猫の殺処分ゼロ、飼い主の適正飼養の取り組み強化。大規模災害時のペット同行避難の受け入れ態勢強化。

子育て支援と教育

- 子ども医療費：入院医療費の助成対象を高校生まで拡充。通院と調剤についても同様に拡充。
- 学校給食の無償化：第2子、第1子への拡大が可能なのか、政策効果は十分にあるのかなど、具体的に検討。
- 待機児童対策：保育所・放課後児童クラブ（放課後ルーム）の職員確保のための処遇改善。
- GIGAスクール構想：県立高校へも1人1台の学習者用コンピュータ端末や電子黒板の配備など、ICTを活用した教育の推進。
- 部活動の地域移行化：教員の負担軽減と児童生徒の専門的指導強化のために、地域や民間などの力を結集して推進。
- 不登校：スクールソーシャルワーカーとカウンセラーの増員や常勤化。適応指導教室やフリースクールなどの受け皿の拡充。
- ブラック校則：児童生徒と教職員との話し合いによる民主的なプロセスを通じて、時代に合致した内容に改正。

千葉県の魅力向上

- 交通インフラ：船橋市の小室を通る北千葉道路の早期整備と、市南部を通る計画である第2湾岸道路構想の促進。東葉高速線と北総鉄道の高運賃問題への積極関与。
- 自然保護：貴重な干潟である三番瀬の環境保全。喫緊の課題である東京湾の青潮対策。
- 農業・漁業：県産農林水産物については千（地）産千（地）消の推進。「船橋の梨」や「船橋の瞬〆スズキ」などに倣った農水産品のブランド化の促進。両産業の課題である後継者育成など。
- インバウンド促進：千葉県の誇る自然や名所、食事、集客施設や商業施設を海外にアピール。
- スポーツ振興：サッカー、バスケットボール、野球、ラグビーなど、千葉県が誇るプロチームと行政との協働によるスポーツ振興。公園や広場などスポーツ環境の整備。全ての人が楽しみながら社会参加できる障がい者スポーツの振興。